

## 電子情報工学専攻 電気電子工学コースの教育目標

電子情報工学専攻電気電子工学コースでは、電気電子工学における基礎および専門的な知識を修得するとともに、研究・開発の手法を身につけた高い能力を持った人材を輩出することによって電気電子工学という技術分野を通して、広く社会に貢献することを理念としています。本コースでは工学部電気電子工学科のカリキュラムとの連続性を留意しつつ、工学および新技術の発展に寄与できる先進性と独創性に富んだ技術者・研究者の育成を目指して、下記の（A）～（D）の学習・教育目標を掲げています。

（A）電気・電子工学分野の高度な専門知識を系統的に修得し、それらを柔軟に応用する能力を養います。

- （1）電気電子工学の基礎となる電気磁気現象や電気電子回路に関する基盤的な専門知識を習得し、それらを応用して電気電子工学に関連する諸問題に適用するための能力を養います。
- （2）電気エネルギー、電子物性、情報通信に関する高度な専門知識を習得し、それらを電気電子工学が関与する諸問題に適用するための能力を養います。
- （3）電気電子工学に関する先端分野の知識や研究成果、および動向について学び、現在の技術者、研究者が取り組むべき課題を認識します。

（B）最先端の電気電子分野の研究の方法論、研究実施能力、問題解決能力を身につけ、研究を自立的に進める能力を養います。

（C）研究課題やその動機や問題点、試みた解決方法、結果及び結論をわかりやすく伝え、定量的かつ科学的な議論を展開する能力を養います。

（D）社会の中核として活躍できる技術者・研究者として、高い倫理観と責任感をもち、人々の幸福な生活を願い、エネルギー問題、環境問題等、社会が抱えるさまざまな問題の解決のために、科学技術を応用することに情熱をそそぐことができる能力を養います。

## 学習・教育目標を達成するために必要な授業科目の流れ

学習・教育目標	1年		2年	
	前期	後期	前期	後期
A-1	電気磁気応用特論			
	電気回路応用特論	電子回路応用特論		
A-2	プラズマ工学特論	高電圧工学特論		
	回路システム特論			
	半導体デバイス特論	電気電子材料特論		
	光物性デバイス特論			
	デジタル信号処理特論	情報通信システム特論		
A-3	電子電子工学実習			
	電気電子工学特別講義I			
	電気電子工学特別講義II			
B	電子情報工学特別講義I		電子情報工学特別講義I	
	電子情報工学特別演習I	電子情報工学特別演習II		
	海外短期留学			
C	電気電子工学特別演習I	電気電子工学特別演習II	電気電子工学特別演習III	
	最適化数学特論			
	応用数学特論I	応用数学特論II		
	技術英語プレゼンテーション			
	MOT特論			
	化学物質管理の基礎知識			
	プロジェクトマネジメント特論I			
Technical Writing in English				
D	電気電子工学特別演習I	電気電子工学特別演習II	電気電子工学特別演習III	
	←————— 学位論文 —————→			